

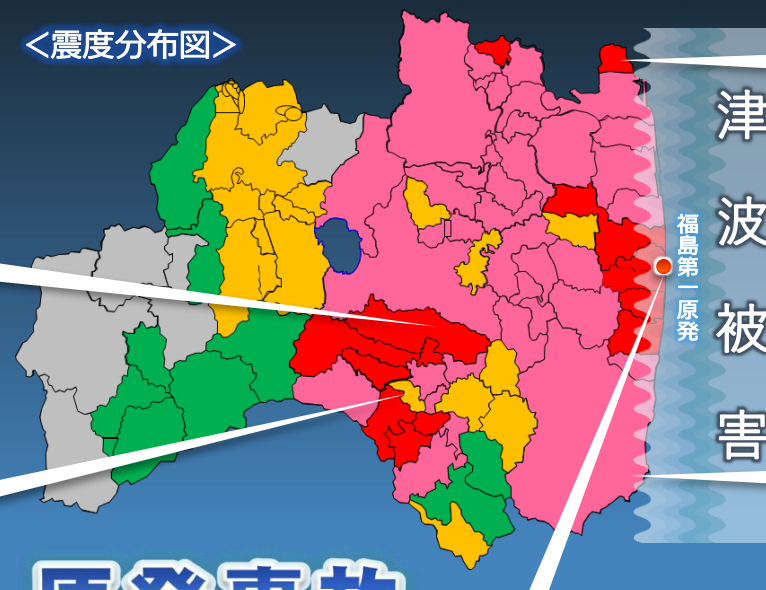


2011年3月11日(金) 14:46 東北地方太平洋沖地震発生(震源:三陸沖 M9.0)

地震



<震度分布図>



津波被害

震度 6 強	震度 5 弱
震度 6 弱	震度 4 以下
震度 5 強	

原発事故



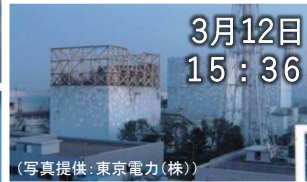
4号機建屋 水素爆発



3号機建屋 水素爆発



1号機建屋 水素爆発

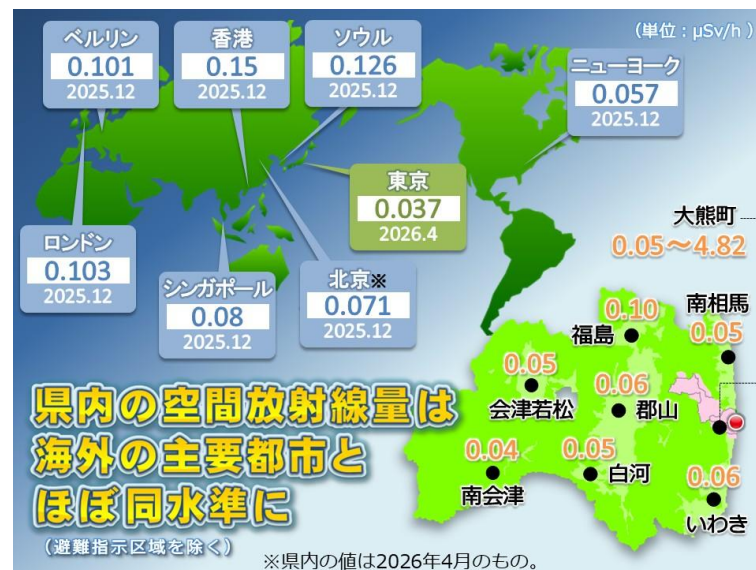


津波

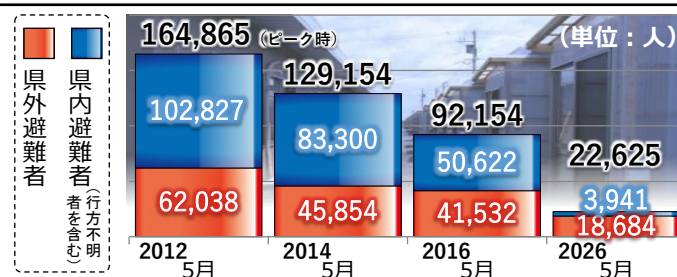


避難指示区域の推移と復興状況

2018年3月末、県内生活圏の面的な除染が終了し、避難指示区域も縮小



現在の避難者数 **22,625人** [2026年5月]



農林水産物の安全性確保と風評払拭

出荷前検査で基準値を超えるものは流通させない

福島県産農林水産物の放射性物質検査の状況（2025年4月1日～2026年3月31日）

2025年度	種別	検査数	基準値超過	基準値超過なしの期間
	玄米（※1）	140件	0件	11年連続
	野菜・果実（※2）	1,791件	0件	13年連続
	畜産物	1,564件	0件	12年連続
	栽培山菜・キノコ	579件	0件	14年連続
	水産物（海産物・養殖）	3,258件	0件	
	野生山菜・キノコ	407件	0件	
	水産物（川・湖・沼）	157件	1件	

食品中の放射線セシウムの基準値（食品衛生法）（Bq/kg）			
日本	EU	米国	CODEX
100	1,250	1,200	1,000

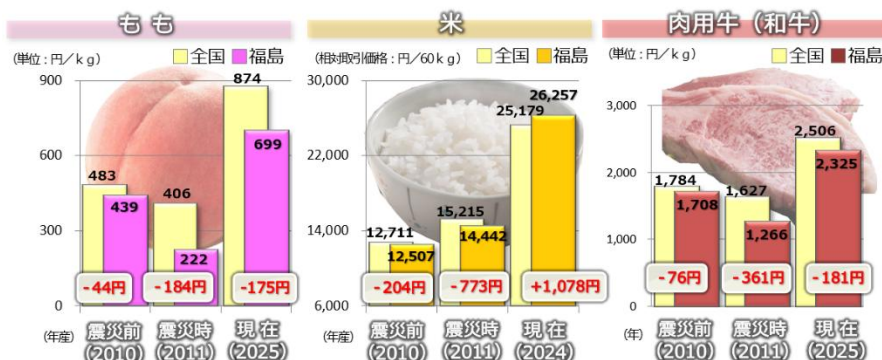
（※3）

※1 玄米については、2019年産米までは県内全域で全量全袋検査を実施していたが、2020年産米より避難指示等のあった市町村を除きモニタリング検査へ移行し、玄米の検査数はモニタリング検査の件数としている。なお、2025年産米は7町村のみで全量全袋検査が行われているが、基準値超過はない。

※2 野生果実は含まない。

※3 国際的な食品規格

＜主な農産物価格の推移＞



※2024年は全国的な米の価格高騰と同様県産米の価格も上昇

出典：農林水産省「米の相対取引価格」に基づく県統計、東京都中央卸売市場H P 市場統計情報



ゲルマニウム半導体検出器による検査体制



米の全量全袋検査（2012年度～）



あんぽ柿の非破壊検査機を開発

いまだ根強く残る“福島”のマイナスイメージ

＜食品の購入に際しての調査＞

（食品中の放射性物質を気にする人のうち、）
「福島県産品の購入をためらう」と回答した人 ➡ 4.0%

＜食品中の放射性物質検査について＞

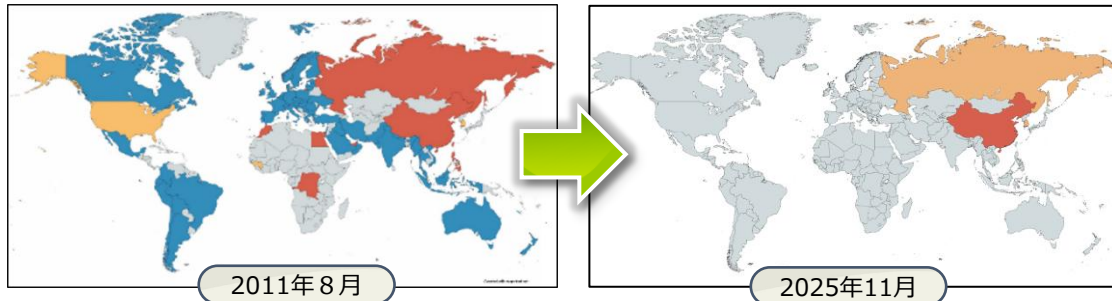
検査していることを「知らない」と回答した人 ➡ 69.1%



出典：消費者庁調査（2026年3月）

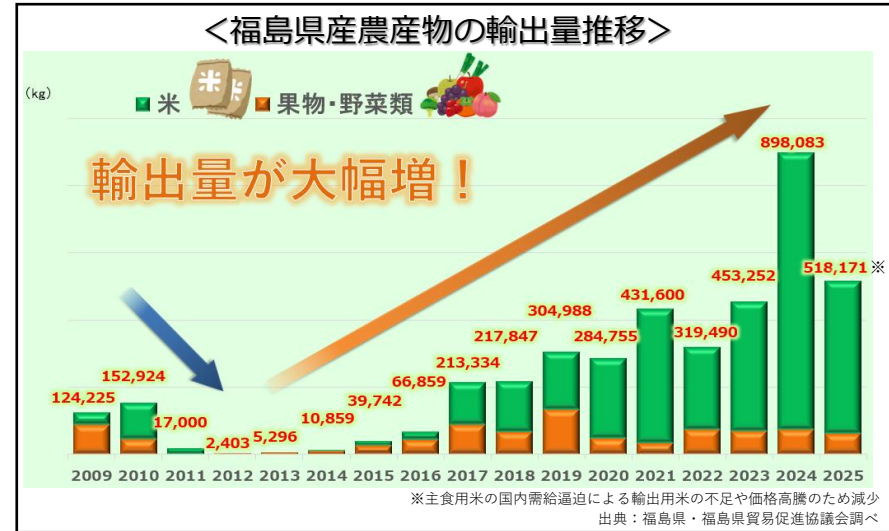
県産農産物の輸入規制状況と輸出量の推移

輸入規制している国・地域 55 → 5



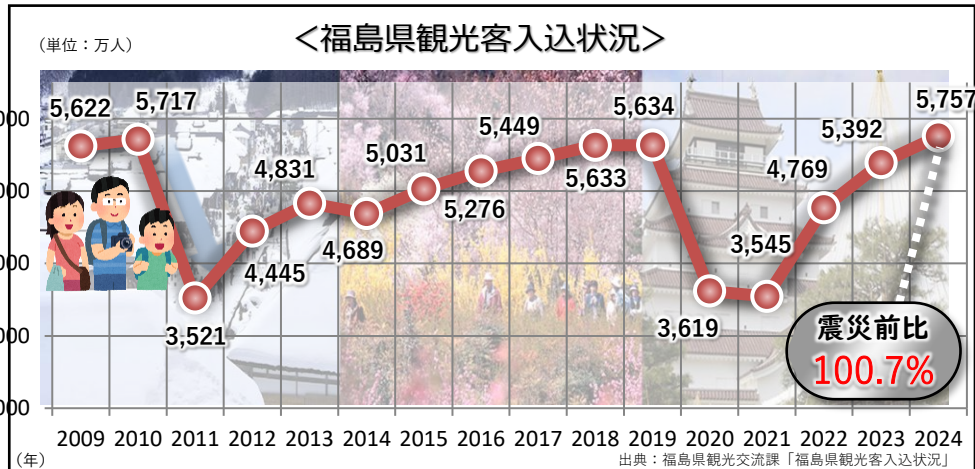
福島県産食品の広い品目で輸入停止している国・地域 (12 ⇒ 3)
福島県産食品の一部を輸入停止している国・地域 (4 ⇒ 2)
検査証明書の添付等により食品の輸入を認めている国・地域 (39 ⇒ 0)

輸出量が大幅に増加

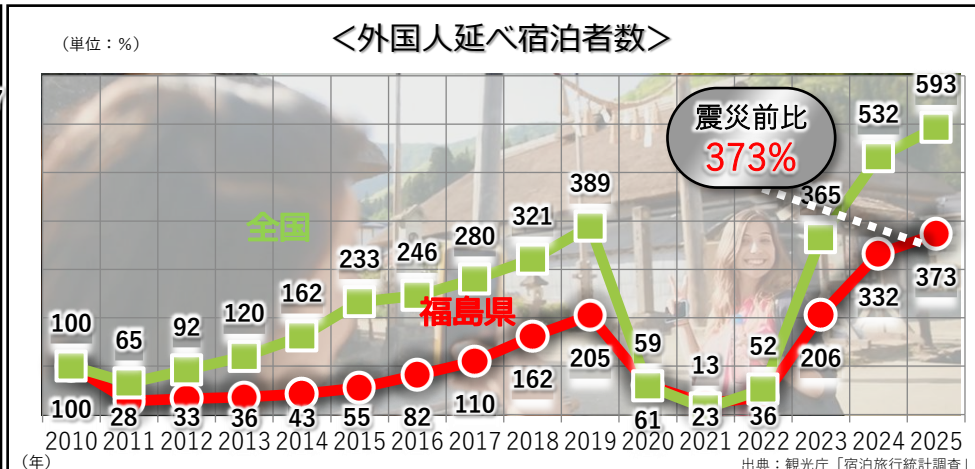


観光の再生

観光客入込数はコロナ禍後に回復傾向



外国人延べ宿泊者数は過去最高を更新



ふくしま復興情報ポータルサイト



ふくしま復興のあゆみ

発行元：福島県 企画調整部 復興・総合計画課
E-mail fukkoukeikaku@pref.fukushima.lg.jp